

諸先生選句

現代俳句協会副会長 倉橋 羊村 選

◎海平ら梅観るのみの途中下車 小川名梅乃
 店の先焼芋の香に人集う 青木美紀子
 靴紐を結う一瞬の春北風 稲葉 幸
 満天の蒼さの中に山眠る 瀬戸 溪水
 帰り道福団子提げ初詣 安中 忠夫
 それぞれに枝ぶりのあり枯木立 岩野ヤエ子
 声無しに飛び交う鳥影冬障子 安中 忠夫
 初不動ほとぼしる火の暗さかな 佐渡谷秀一

圓主宰 石河 義介 選

◎初不動ほとぼしる火の暗さかな 佐渡谷秀一
 冬ごもり宿る生きもの百の穴 浅野ゆき乃
 冬りんご堅きに歯をたつ独りの夜 秋山 佳史
 春近しメリケン波止場に画架の列 平井 与史
 雪富士や湖水にゆるる赤鳥居 平井 与史
 勝独楽や噂の青に王の印 永井 玲子
 町の子はどの子も宝福は内 稲葉 幸
 旅は学校道は教室日脚伸ぶ 野上 貞勝

あかぎ主宰 飯村 寿美子 選

◎冬晴や丹沢連峰むき出しに 瀬戸 溪水
 鷹舞ふや紺の張合ふ空と海 野上 貞勝
 初富士や卒寿に余る目にすがし 瀬戸 溪水
 靴紐を結う一瞬の春北風 稲葉 幸
 勝独楽や噂の青に王の印 永井 玲子
 町の子はどの子も宝福は内 稲葉 幸
 背広の背見上げ見送る成人式 青木美紀子
 初不動ほとぼしる火の暗さかな 佐渡谷秀一

古志 小寺 敬子 選

◎いつの間にわだかまり消え冬銀河 岩野ヤエ子
 松過やカロリーてふ言復活す 佐渡谷秀一
 靴紐を結う一瞬の春北風 稲葉 幸
 海平ら梅観るのみの途中下車 小川名梅乃
 町の子はどの子も宝福は内 稲葉 幸
 房総の浪音寒の旅枕 小川名梅乃
 蝸丸を引くも引かぬも初絵札 永井 玲子
 春近しメリケン波止場に画架の列 平井 与史

饗焔 北 登 猛 選

◎それぞれに枝ぶりのあり枯木立 岩野ヤエ子
 鷹舞ふや紺の張合ふ空と海 野上 貞勝
 海平ら梅観るのみの途中下車 小川名梅乃
 満天の蒼さの中に山眠る 瀬戸 溪水
 寒の風集まる森の大檜 小川名梅乃
 コンサート退けて港の寒昂 稲葉 幸
 初風や港に鷺の輪を画き 平井 与史
 背広の背見上げ見送る成人式 青木美紀子

末黒野主宰 小川 玉泉 選

◎海平ら梅観るのみの途中下車 小川名梅乃
 いつの間にわだかまり消え冬銀河 岩野ヤエ子
 鷹舞ふや紺の張合ふ空と海 野上 貞勝
 寒の風集まる森の大檜 小川名梅乃
 コンサート退けて港の寒昂 稲葉 幸
 雪落つる音に紅筆とまりけり 桜井 幸枝
 房総の浪音寒の旅枕 小川名梅乃
 初不動ほとぼしる火の暗さかな 佐渡谷秀一

頂点 鶴巻 ちしろ 選

◎病む足と私の俳句春遅々と 安沢 文枝
 いつの間にわだかまり消え冬銀河 岩野ヤエ子
 冬りんご堅きに歯をたつ独りの夜 秋山 佳史
 靴紐を結う一瞬の春北風 稲葉 幸
 コンサート退けて港の寒昂 稲葉 幸
 エコバックに突き出す牛蒡寒の雨 野上 貞勝
 雪落つる音に紅筆とまりけり 桜井 幸枝
 返事なき夫の書齋に賀状置く 浅野ゆき乃